

広島大学病院 がん医療従事者研修会

— 肉腫について勉強する ② 軟部肉腫 —

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

(座長) 広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦 先生

講演1

「軟部肉腫：疫学、分類、病理について」

神戸大学大学院医学研究科・医学部地域連携病理学 特命教授
兵庫県立がんセンター病理診断科 部長

廣瀬 隆則 先生

軟部肉腫は皮下組織、筋肉、後腹膜などに発生する非上皮性(間葉系)悪性腫瘍です。いわゆる5大がんなどの上皮性悪性腫瘍(癌腫)に比べると、はるかに発生頻度は低いですが、40種類近くの多数の腫瘍型が知られています。軟部肉腫を正しく診断し、適切な治療を行うためには、それぞれの特徴をよく知っておくことが大切です。本講演では軟部肉腫の疫学、分類と代表的な腫瘍型の病理学的特徴について解説する予定です。

講演2

「軟部肉腫の化学療法」

広島大学病院 がん化学療法科 助教

妹尾 直 先生

軟部肉腫は軟部組織から発生する悪性腫瘍で、種類は多岐にわたりますが、比較的稀な腫瘍であります。化学療法に関しては一般的に奏功しにくいものが多いのが現状であります。近年少しずつ治療薬が増えてきています。それを患者さん一人一人にどのように生かしてゆくかを相談しながら診療してゆくことが大切です。今回は軟部肉腫の化学療法について、最新の知見についてお話したいと思います。

開催日時 ▶ 2019年1月18日(金)18:30～

開催場所 ▶ 広島大学病院 臨床管理棟3階 大会議室
〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号

参加申込は、広島大学病院医療支援グループへお知らせください。

☒ : byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp Fax: 082-257-1720 Tel: 082-257-5934

(主催)

広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院) 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム/広島大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン